

2022年度 日本工学院八王子専門学校											
C G映像科											
デジタル演習 5											
対象	2 年次	開講期	前期	区分	必	種別	実技	時間数	60	単位	2
担当教員	小池、柴			実務 経験	有	職種	映像編集、カメラマン、映像制作ディレクター、 作編曲エンジニア				
授業概要											
多岐に渡るCGアプリを実習を通して学び、コンテンツ制作におけるより高度なデジタル技法を修得する。											
到達目標											
PremierePro、AfterEffectsの操作の習熟、及び映像の編集に必要なリズムのとり方、構成力などを身につける。映像作品の方向性、演出方法をよく把握し、適切な音を用意、編集できるようになること。必要な音素材をどうやって制作すればいいのか、その方法と技術を身につけてあまり時間をかけずに作業ができる用意なること。											
授業方法											
映像素材を実際に編集する作業になるべく多くの時間を割いて、ソフトの操作及び編集作業に慣れてもらうことで様々な映像制作に対応できる力を身につける。音声も映像同様、素材を実際に編集する作業になるべく多くの時間を割いて、ソフトの操作及び編集作業に慣れてもらうことで様々な制作に対応する能力を身につける。											
成績評価方法											
試験・課題5：50%課題作品が各自の企画通りに出来ているか、実習内の技術が正確に反映されているかで評価する。平常点：50%積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。											
履修上の注意											
授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
教材データは毎回配布、使用ソフトウェアはその都度指示											
回数	授業計画										
第1回	映像基礎、Premiere Pro基礎1：映像編集に必要な用語などの理解、Premiere Proの画面構成、素材の管理などの習得										
第2回	Premiere Pro基礎2：Premiere Proの基本操作、主に編集機能の習得										
第3回	Premiere Pro基礎3：Premiere Proの基本操作、主にエフェクト機能の習得										

2022年度 日本工学院八王子専門学校	
C G映像科	
デジタル演習 5	
第4回	編集実習 1 : インタビュー素材の編集
第5回	編集実習 2 : ショートドラマ素材の編集
第6回	編集実習 3 : ショートドラマ素材の編集
第7回	編集実習 4 : 映像作品の予告編作成
第8回	編集実習 5 : After Effectsのトラッカーを使用した合成映像の作成
第9回	サウンド1 音楽の編集 : 既存の音楽素材を、FI・FO・クロスフェード・オートメーション・リバーブなどのプラグインを使用し必要な秒数に編集する
第10回	サウンド2 効果音の編集 : 頭の中でイメージした音を細かな要素に分割し素材を集め、プラグインなど使用して合成し、ひとつの効果音にまとめる
第11回	サウンド3 セリフ・ナレーションなどの音声の加工 : 自分たちで収録した音声のノイズを除去し音圧を揃えたトリム作業。またキャラクター用にプラグインを使用して加工する。
第12回	サウンド4 MA : 音楽・効果音・セリフなどを演出を考慮しながら 2mixにまとめ、ファイルとして出力しプレミアなどに読み込む
第13回	課題制作 1 : 前回までの実習内容を踏まえ、ショートドラマの仕上げを完了する
第14回	課題制作 2 : 前期課題制作とプレゼン準備
第15回	前期講評 : 前期作品講評